

「素晴らしい救い主」ピリピ2：1～11 11・12・25 I 先行する神の恵み。1. 父なる神の大きな愛。父なる神は、大切な大切なひとり子をクリスマスにこの世に与えられました。「私たちは、御父が御子を世の救い主として遣わされたのを見て、今そのあかしをしています」I ヨハネ4：14。私たち人間は、自分の大切な子や大切な人を、その人が、ののしられ、苦しめられ、最後には殺されるとわかっているながら、ある国にその人を遣わすことは、決してしません、できません。しかし、父なる神は、罪人である私たちの罪（「不品行、偶像礼拝、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、酪酊（酒に酔う）、遊興（悪い遊びにはまる）」ガラ5：19～21）が赦され、私たちが救われる（赦しだけでなく、新しい命、不品行がきよめられ聖さへ、憎しみが変えられ愛へ、死で終わりではなく永遠の命＝神との永遠の幸いな交わり）為に、クリスマスに大切なひとり子イエス様をこの世に送られ、十字架で私たちの身代わりに死なせられた（私たちの罪の罰を受けられた）のです。何という信じられないほどの大きな愛でしょうか。クリスマスは、神の大きな愛を感謝し、イエス様の十字架の死と切り離さずに喜びお祝いする日です。「神は、実に、そのひとり子をお与えになった（クリスマス、十字架の死に）ほどに、世（私たち罪人）を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」ヨハネ3：16。2. 御子なる神、イエス様のへりくだりと愛。「キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました」ピリピ2：6, 7。私たちなら、自分が、誤解され、ののしられ、馬鹿にされ、苦しめられ、最後には殺されるとわかっている所に行くのでしょうか？ 私なら無理です。しかし、神であるキリストは、私たちを愛して、神のあり方を捨てられるものかとはお考えにならず、へりくだり、人となり、いや、すべての造り主であるイエス様が、私たちの救い主となるために、赤ちゃんとなり、この世に来られたのです！それがクリスマスです。最後には、私たち人間の罪（不品行、憎しみ、恨み、ねたみ、陰口、悪口、嘘）の為に身代わりに死ななければならぬとわかっている来て下さったのです。何という愛、へりくだりでしょう。すべての事がおできになる、奇蹟も行える方が、人間におしめも変えてもらわなければならない立場にご自分を低くされたのです。実は、このへりくだりのすごさを言葉で表すことはできません。人間は、上へ上へ昇ろうとします。最初の人神のようになろうとして罪が入りました。私たちも、うまくいっていると、神なんかいない（神のおかげと人々の支えへの感謝を忘れて）と心の中で上へ上へと高ぶってしまいます（自分を神の座に押し上げる）。しかし、最高の位で、神であるイエス様は、下へ下へ降りて下さり、私たちのもとに来て下さったのです。目

には見えませんが、今も、あなたのそばに主はおられます。「ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました」ピリピ2：7。なぜ神であるイエス様が、人となられたのでしょうか。それは、私たち人間が犯した罪の償いをするために人の身代わりに死ぬためには、人にならなければならなかったのです。イエス様が、人になられたのは、最後に十字架で死なれることが最高の御目的でしたが、もう一つ御目的がありました→それは私たちの最高の理解者になられる為。「私たちの大祭司（神と人の間をとりもつ方）は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪はおかされませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにこなかった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか」ヘブル4：15, 16。私たちは、自分のことを少しも理解してくれそうにない人には悩みの相談はしません。しかし、心の痛みを理解し、寄り添ってくれる人には相談します。正に、主イエス様は、私たちの最高の理解者です。主は、私たちと同じ肉体を持たれ、疲れ、渇き、貧しさ、苦しみ、悲しみ、何も悪いことをされていないのに、悪口を言われ、あざけられ、ののしられ、裏切られ、見捨てられ、十字架の上では想像を絶する苦しみ、肉体的な痛み、霊的な辛さを体験されました。ですから、あなたの痛み、つらさ、苦しみ、悩み、痛みを心から理解して下さる素晴らしい救い主です。この方に、すべてのつらさをそのまま打ち明けて祈り、心の重荷を降ろしましょう。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」マタイ11：28。そして主は下へ下へ、最も低い所に私たちの救いの為に降りられました→「自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死（極悪人の処刑の場。私たちのすべて罪の為に身代わりに刑罰を受けて下さった死）にまでも従われました」ピリピ2：8。Ⅱ神の大きな愛への私たちの応答。1. 自分の罪（自分を神とし神に感謝をしない高ぶり、不品行汚れ、憎しみ、恨み、ねたみ、陰口、悪口、嘘、不正、酒に酔いあやまちを犯す事等）を認め、それらの罪の償いをするために、主がクリスマスに世に来られ、十字架で死なれ、三日目に復活され事を信じ主を心に迎えましょう。2. 今持っている心の重荷、悩みを理解して下さる主に打ち明け祈り重荷を下ろしましょう。主は今生きておられ、あなたが辛い時もあなたと共におられる主です。3. まずいつも主の恵み、御父の愛、聖霊の交わりを受け続け、互いに赦し合い愛し合ひましょう。自分自身が、今日まで、どんなに多くの罪を神に赦され、愛され、忍耐され、寛容を受けているかを静かに思い返しましょう。4. この素晴らしい救い主をまだ知らない家族、知人、友人、世界中の人々に伝えましょう。口で語る前に、主からの愛を示すことができるように祈りましょう。